

特別支援学校

【生活単元学習】

単元【夏を感じよう】

主体的・対話的で
深い学びのポイント

データを収集し、グループ内で話し合って整理したり分類したりすることにより、概念形成を図ることができる。

ICT活用のポイント

画像や音声を手掛かりにすることにより、ものの属性やものとの関係が分かりやすくなる。

使用する
ICT機器

P C、タブレット端末等

使用するアプリ・
クラウドサービス等G Suite for Education (Classroom、フォーム)
Googleスライドクラウド
の活用☒教材の配布・回収等
☒生徒の学習状況の把握☒資料等の共有
☐その他（ ）本時の
ねらい

対象物の大まかな概念を理解し、属性に応じた分類を考えている。

主な学習活動
(学習場面)

I C Tの活用・留意点等

評価

導入

○本時の目標を
確認する

一斉



ホワイトボードに本時の内容を投影する。

本時のテーマを知る。



ICT機器

指針5

展開

○画像や音声の
収集を行う

個別



外に出て、夏を感じられる画像や音声をタブレット端末に記録する。



指針2

指針4



ICT機器

○収集した画像
や音声を共有
する

協働



・撮影、録音した画像や音声を、Classroom上で共有し、発表する。



指針3



クラウド

ICT機器

○収集した画像
や音声を分類
する

協働



・発表した全ての画像や音声を、指定された属性（植物、動物、昆虫、色など）に分類する。



指針3



クラウド

ICT機器

○分類した画像
や音声を発表
する

協働



・分類した結果をClassroom上で共有し、発表する。

ICT機器

ここで評価

【思】提示された属性に応じて画像や音声の分類を考えている。

終末

○本時の振り返り

一斉



画像や音声を集める様子や発表する様子などを、画像を用いて振り返る。

指針5

※ 表内の指針1～6は、「ICT活用授業指針」8ページにあるICT活用授業の目指す姿1～6を表しています。

※ ICTの導入が目的化しないように、ICTを活用する場面と活用しない場面を効果的に組み合わせることが重要です。

※ 評価の観点 【知】＝知識・技能 【思】＝思考・判断・表現 【態】＝主体的に学習に取り組む態度